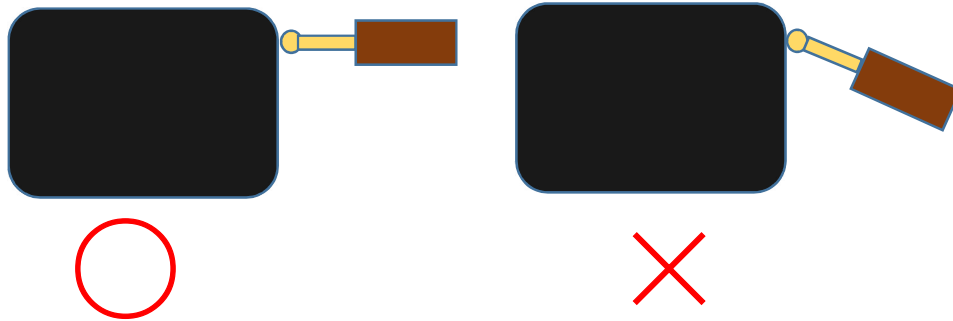


プラグの挿し方、外し方、メンテナンス

NIDEON

オーディオ機器にプラグを挿す場合に気を付けること。

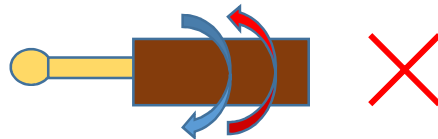
- ① プラグのサヤ部分を持って 真っすぐ挿す。



斜めに刺した場合、プラグのめっき面を擦ってしまい、めっきを剥がしたり、プラグの側面を削ったり、ジャックの形状を変化させたり、ジャック部分のばねを必要以上に曲げたりする原因になります。

プラグのサヤ部分をきちんと持って、できるだけ真っすぐに挿すようにしてください。

- ② 挿した後でプラグを回さない。



プラグを挿した後でプラグを回すとプラスのめっき面（側面）とジャックのばね部分を擦ることになります。これもプラグのめっきを剥がす行為になってしまいます。また、ジャックに対して垂直な状態のまま手で回すことは非常の難しいために、プラグを曲げたり、接点を傷つける原因にもなります。

古いプラグでめっきがはがれてプラグやジャックの表面が酸化している場合プラグを挿した後で回して酸化膜を擦り落とすことで接点が復活する場合がありますが、それは一時的な緊急回避の手段です。（すぐに酸化して同じ行為を繰り返しながら使うことになります。その場合、削れた酸化膜が機器内部に残り、ジャックの劣化も加速します。）もし、正確にプラグを挿した状態で音切れなどが発生する場合は、プラグと接するジャックのばね部分の劣化、また

無断掲載禁止（日本電子音響）

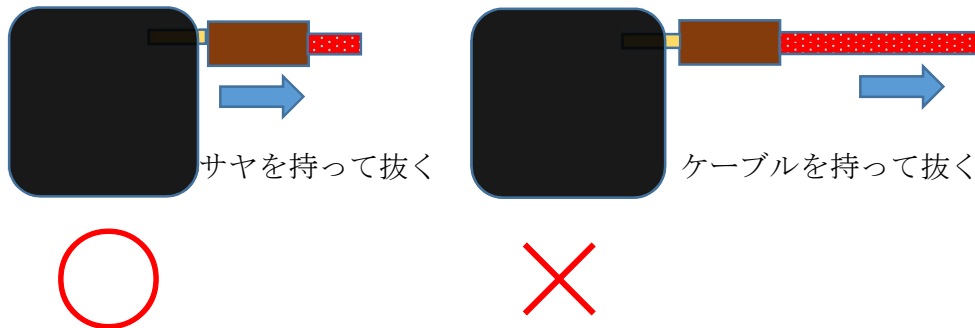
はめっきがはがれて酸化が進行している可能性が高いです。できればプラグ、ジャックの交換、またはプラグ、ジャックの再メッキが効果的です。正確に製造され、適正なめっきを施された新品のプラグとジャックの場合、挿入後に回す行為はせっかくのめっきをわざと削り取る行為になり寿命を縮め、機器 w 傷つける要因になります。

オーディオ機器を使用中に気を付けること。

- ① 使用中はプラグに力がかからないようにする。
ポータブル機器の場合、バッグの中に入れて持ち歩くことがあります。バッグの中はケーブルやプラグに横方向の力がかかりやすい状況です。できるだけ力がかからないように注意してください。特に 2.5 のプラグは細い為に折れたり曲がったりしやすい構造です。力のかからないようにお願いします。
- ② ケーブルに力がかからないようにする。
使用中に手やバッグに引っ掛けたり重量物でケーブルをはさんだりするとケーブルが変形し、断線の原因になります。ケーブルには力がかからないようにしてください。

オーディオ機器からプラグを外す場合に気を付けること。

- ① 必ずサヤを持ってまっすぐ抜く。
ケーブルを持って抜くことは断線やトラブルの原因になります。絶対にやめてください。ケーブルで発生する断線の大部分がジャック部分で発生しています。ケーブルを持って抜くと、はんだ付け部分に力がかかり、断線が発生しやすくなります。また挿す時と同じくまっすぐ抜いてください。



無断掲載禁止（日本電子音響）

プラグの保管について気を付けること。

- ① プラグの表面をきれいに保つ。
手で触ったりすると、手の油成分、汗の塩分がプラグ表面に付着して接触不良や酸化（さび）の原因になります。できるだけきれいな状態を保つようにしてください。
- ② 機器に挿した状態で放置しない。
機器に挿した状態で錆が発生した場合、最悪プラグとジャックが固着する可能性もあります。長時間使わないときは外して保存してください。特に無めっきプラグの場合は酸化が早いです。特に注意をしてください。
- ③ プラグに力がかからないようにしてください。
保管、持ち運ぶ場合もプラグ・ケーブルには力のかからないようにしてください。

メンテナンス剤について

- ① 接点復活剤は酸化したプラグには効果があります。しかし、これは緊急避難的なものと考えたほうが良いです。本来の性能に戻す場合は、プラグ交換、再めっきが必要です。
接点復活剤には炭素、ダイヤモンドの微粉末を添加したものがあります。これは固い導電性のある微粒子がプラグとジャックの酸化膜を破り、ジャックとプラグを導通させるもので、決して理想の導通状態とは言い切れません。また炭素やダイヤモンドの微粒子は機器内に残るので、多量に使うことは避けたほうが良いです。また油成分が主体の接点復活剤も多量に付けた状態で機器に挿した場合は、ジャック部分に油成分が残り、そこに埃がたまって接点不良を起こす原因にもなります。少量の仕様が望ましいです。できればジャック、プラグなどの部品交換、または再めっきが望ましいです。
- ② 手垢などの汚れを落とす場合、なるべく柔らかい布を使用してください。純金めっきの中にはやわらかい物もあり、かたいもので拭いた場合、めっきをこすり取る場合もあります。また表面をクリーニングする薬剤を使用した場合、乾燥を確認してから使用してください。